

2026年1月23日

各 位

WOWBIT (WWB) の Solana ネットワーク対応に関するお知らせ
～連結孫会社による EVM-SVM ブリッジ機能「HASHI」の開発完了～

当社の連結孫会社である Metabit Sdn. Bhd.（本社：マレーシア）が開発した、EVM^{*1}（Ethereum Virtual Machine）と SVM^{*2}（Solana Virtual Machine）間を接続するブリッジ機能サービス「HASHI」が完成したことにより、当社が戦略的パートナーとして参画している WOWOO プロジェクトにおいて、同プロジェクトのネイティブトークンである「WOWBIT (WWB)」が Solana (ソラナ) ネットワーク上での発行に対応可能となったことをお知らせいたします。

本件は、マルチチェーン環境におけるトークン活用の柔軟性および技術的拡張性の向上を目的とした取り組みの一環です。

^{*1} EVM (Ethereum Virtual Machine)

Ethereum をはじめとする多くのブロックチェーンで採用されているスマートコントラクト実行環境。

Ethereum、Optimism、Arbitrum、Polygon など、互換性のある複数のチェーンで同一のプログラムを動作させることが可能。

^{*2} SVM (Solana Virtual Machine)

Solana ブロックチェーン上で採用されている独自の実行環境。並列処理を前提とした設計により、高速かつ低コストなトランザクション処理が可能とされている。

1. 「HASHI」について

「HASHI」は、異なるブロックチェーン実行環境である EVM 系チェーンと SVM (Solana) を接続し、トークンを相互に移転可能とするクロスチェーン・ブリッジ機能^{*3} サービスです。

ブリッジ処理においては トークンの総供給量および流通量の整合性が常に維持される設計を採用しています。

主な技術的特徴は以下のとおりです。

- 移転元チェーン上のトークンを専用ポールトにロックし、移転先チェーン上で同数のラップドトークンを1:1で発行
- 逆方向の移転時には、移転先チェーン上のラップドトークン^{※4}をバーン（焼却）し、ポールト内の元トークンをアンロック
- 総供給量および流通量の整合性を常時担保
- 既存のクロスチェーン技術と同様の概念を持ちつつ、比較的シンプルな構成により、効率的な運用を可能とする設計

なお、「HASHI」は現時点では、abc グループにおいて管理・運用されるインハウス用途（社内利用）を前提とした技術基盤として開発・運用されており、第三者が自由に利用可能な公開サービスではありません。

^{※3} クロスチェーン・ブリッジ

異なるブロックチェーン間で資産やデータを移転するための仕組み。本件では、元のトークンをロックし、移転先で同等のラップドトークンを発行する方式を採用している。

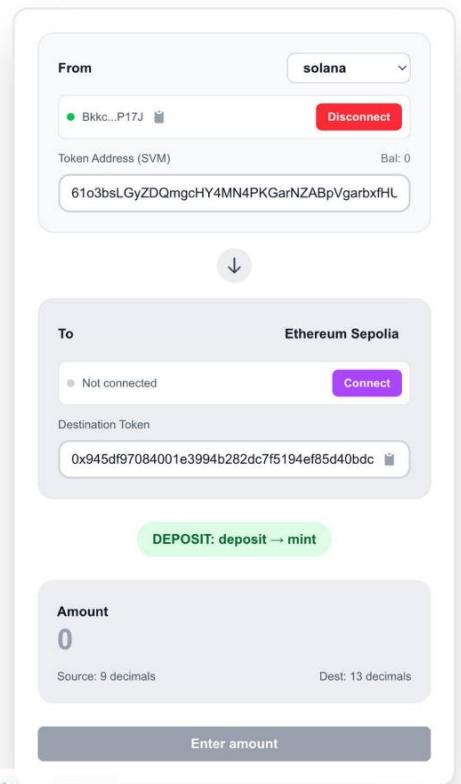
^{※4} ラップドトークン

他のブロックチェーン上の資産を裏付けとして発行される代替トークン。1:1での裏付けを前提とし、元資産の価値と連動する。

Hashi

Move Across Chains

Hop, skip, bridge your tokens.



| SOURCE | DESTINATION | STATUS | OPERATIONS |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|------------|
| Solana Devnet Chain ID: 0 61o3bsL GyZDQmgcHY4MN4PKGarNZABpVgarbxfHUQKC Decimals: 9 | Ethereum Sepolia Chain ID: 11155111 0x945df97084001e3994b282dc7f5194ef85d40bdc Decimals: 13 | Active | |

2. WOWBIT (WWB) の Solana 対応について

WOWBIT (WWB) は、「HASHI」の完成により、Optimism メインネットから Solana ネットワークへのブリッジが技術的に可能となり、Solana ネットワーク上での発行に対応可能となりました。

当該ブリッジ処理（トークンのロック、発行、焼却等）は、クライアントの意向およびプロジェクト方針に基づき、インハウス用途として運用されている HASHI を、当社連結孫会社である Metabit Sdn. Bhd. を中心とした体制により管理・運用し、実施されます。

3. 今後の展望

当社は、連結孫会社である Metabit Sdn. Bhd. による技術開発力を背景に、マルチチェーン環境に対応した基盤技術の高度化を進めるとともに、Web3 領域におけるトークン活用の柔軟性および可能性の拡張に寄与していくことを目指しております。

今後は、プロジェクト主体である WOWO PTE. LTD. をはじめとする関係者との連携のもと、技術的成熟度や市場動向等を踏まえながら、マルチチェーン技術の活用可能性や新たなユースケースへの展開について検討を進めてまいります。

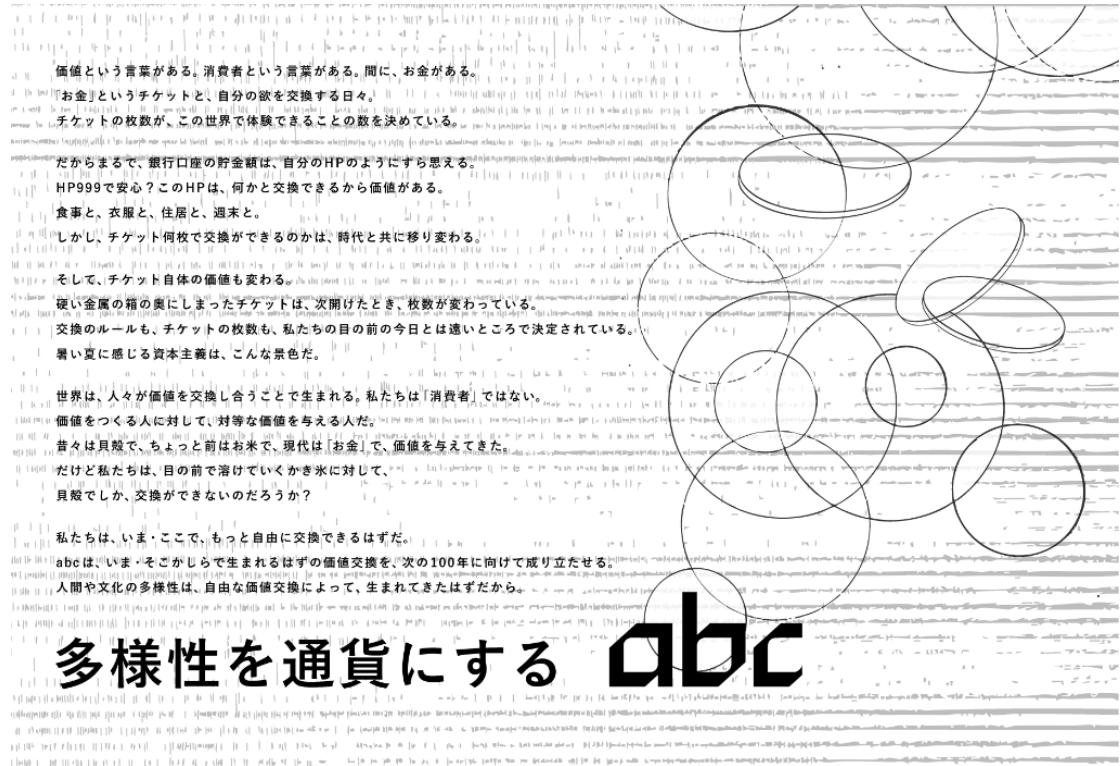
当社は引き続き、戦略的パートナーの立場から、技術面・思想面での支援を通じて、健全かつ持続的な Web3 エコシステムの発展に貢献してまいります。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本契約は、現時点で特定の投資・発行・購入・販売等を義務付けるものではなく、今後の個別プロジェクトごとに契約を締結し、各社の内部承認を経た上で実行されるものです。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸として、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上